

■日本緩和医療学会 第7回関西支部学術大会 一般演題リスト 2025年9月20日(土) ラッセホール

会場	プログラム	産長	産長所属機関名	発表時間	No	筆頭演者氏名	筆頭演者所属機関名	演題名
第3会場 リリー (地下1階)	フレッシュヤーズ セッション①	醍醐 弥太郎 山川 宣	滋賀医科大学臨床腫瘍学講座・腫瘍内科・腫瘍センター 神楽記念病院	9:30-9:40	F-01	米谷 佳恵	神戸市立医療センター中央市民病院 薬剤部	フェンタニル注出荷制限後の当院におけるブレンロフィン注の使用状況に関する調査
				9:40-9:50	F-02	小西 安理沙	社会医療法人孝仁会 札幌孝仁記念病院 薬剤部	三叉神経領域の帯状疱疹後神経痛を併発する感性的疼痛に対しラコサミド点滴静注が効果を示した1例
				9:50-10:00	F-03	須崎 裕香	ペルランド総合病院 栄養管理室	胃癌術後から終末期における食関連苦悩に着目した管理栄養士としての関わりの一例
				10:00-10:10	F-04	大浜 布由	社会医療法人さつきこう会 多根総合病院 緩和ケア病棟	癌内がんの悪性痛の臭気メトロンゲゾール内服懸濁液が有効であった1事例
				10:10-10:20	F-05	中尾 ゆかり	三菱京都病院、看護部、緩和ケア病棟	緩和ケア病棟におけるがん終末期患者への一般看護師によるスピリチュアルケアの実践に関する実態調査
	10:20-10:30	F-06	高崎 桃恵	洛和会音羽病院 4C病棟	遺族調査結果を使用した緩和ケアのアウトカム評価とアンケートを実施して分かった看護師の認識			
	フレッシュヤーズ セッション②	岡村 知直 吉村 元輝	豊田地域医療センター みんなのかりつけ訪問看護ステーション	10:40-10:50	F-07	中村 直美	独立行政法人国立病院機構 近畿中央呼吸器センター 看護部、支持・緩和療法チーム	緩和ケアチーム看護師によるがん看護外来の取り組み
				10:50-11:00	F-08	河合 和美	独立行政法人国立病院機構近畿中央呼吸器センター、看護部	コロナ禍以降のがんサロン再開における取り組み
				11:00-11:10	F-09	椎木 明美	訪問看護・リハビリステーションわたぼうしWEST	訪問看護師が関わりに困難を抱く終末期がん患者の在宅看取りを実現するためのチームアプローチ
				11:10-11:20	F-10	浅葉 美知子	訪問看護・リハビリステーションわたぼうしWEST	終末期がん患者のそばにいるということ～A氏との関わりを振り返る～
				11:20-11:30	F-11	安達 彩恵子	訪問看護ステーションあおいそら	自宅療養を望んだ独居ALS患者へのACPと在宅療養支援～多職種チームと共に支えた意思決定～
	11:30-11:40	F-12	青木 薫	京都府本記念病院 血液浄化センター	透析患者の苦痛評価を実施して見えた課題			
	フレッシュヤーズ セッション③	月山 淑 松原 健治	和歌山県立医科大学附属病院緩和ケアセンター みんなのかりつけ訪問看護ステーション神戸	13:35-13:45	F-13	松原 彩也	神戸大学医学部付属病看護部6階南病棟	がん患者を支えるACP介入における看護師育成の有用性
				13:45-13:55	F-14	本田 宗彦	株式会社rhozomecare 時のまち訪問看護ステーション	トラウマ・インフォワードケアを基盤とした身寄りのないがん末期利用者の在宅支援 多職種連携と民間支援ネットワークの先進的モデル
				13:55-14:05	F-15	尾西 竜輝	訪問看護・リハビリステーションわたぼうしWEST	がん患者における訪問リハビリテーションの意義
14:05-14:15				F-16	市川 愛穂	社会医療法人生長会ペルランド総合病院 看護部 南10病棟	緩和ケア病棟でリハビリ専門職と協働するリハビリテーション提供の活動報告	
14:15-14:25				F-17	藤村 千砂	医療法人徳洲会 松原徳洲会病院 緩和ケアチーム	患者の思いを多職種につなげる 一管理栄養士にできること一	
第4会場 バンジー (地下1階)	一般演題①	堀木 優志 高子 優子	医学研究所 北野病院 宝塚市立病院	9:30-9:40	O-1	大屋 里奈	京都府立医科大学 麻酔科教室	肺がん術後痛診療中に乳がんの晩期再発を認めた症例
				9:40-9:50	O-2	松田 良信	市立芦屋病院緩和ケア内科	テキサメタゾン大量投与にて一時的に呼吸困難感が改善し、短時間帰宅し得た肺癌による気道狭窄の1例
				9:50-10:00	O-3	豊田 将平	奈良県立医科大学 放射線診療・IVR学講座	会陰部および肛門部の難治性がん疼痛に対するCTガイド下不対神経ブロックの初期経験
				10:00-10:10	O-4	小林 薫	大阪大学医学部付属 東10階病棟 血液腫瘍内科	発達遅滞が疑われる若年造血幹細胞移植患者への口腔ケア支援 一行動変容を促す個別アプローチの工夫一
				10:10-10:20	O-5	福島 智子	大阪赤十字病院 薬剤部	オピオイド注射薬の1日投与量計算ツール「麻薬換算ツール」の有効性の検討
	一般演題②	山代 亜紀子 市原 香織	洛和会音羽病院 緩和ケア内科 淀川キリスト教病院	10:30-10:40	O-6	川端 悠子	トータルケア+ 臨床心理士・公認心理師	医師との対話と意思決定を支える心理士面談の役割 一セカンドオピニオン前の介入による患者支援の実際一
				10:40-10:50	O-7	新城 拓也	しんじょう医院	癌質制限を続ける脾臓がん患者の一例
				10:50-11:00	O-8	二星 友子	有床診療所はすいけりクリニック	胃癌末期患者に対するスピリチュアルケアの考察
				11:00-11:10	O-9	吉田 志帆子	豊川医院	終末期がん患者のスピリチュアルケアの分析～苦しみの構造と現象学的方法を用いて～
				11:10-11:20	O-10	西川 亜紀子	高槻赤十字病院	当院におけるがん患者指導管理料算定促進のための取り組みに関する活動報告
	一般演題④	岩城 隆二 鷹津 英	大阪赤十字病院緩和ケア科 清水メディカルクリニック	11:30-11:40	O-16	水口 静子	市立大津市民病院 緩和ケア病棟	看取りのパンフレット「これからの過ごし方について」の効果的な運用の検討 一看護師の実践内容と困難感に関する調査結果より一
				11:40-11:50	O-17	藤尾 英里子	医療法人成和会ほうせんか病院4階緩和ケア病棟	当院におけるリーフレット作成における取り組み
				11:50-12:00	O-18	藤井 円	吹田ホスピス市民塾	地域サロンががん患者の心のよりどころとなるまで～2025年問題を踏まえて～
				12:00-12:10	O-19	森田 亜紀	グリーンフ&プリーメント研究所	医療従事者へのグリーンケアは誰が支えるのか?
				12:10-12:20	O-20	狗巻 洋平	近畿大学病院 緩和ケアセンター	再発告知を受けた膀胱がん患者にトラウマインフォームドケアの視点で精神保健福祉士が介入した一例
	一般演題⑥	大前 隆仁 小山 富美子	おおまえホームケアクリニック 近畿大学 看護学部設置準備室	14:45-14:55	O-26	太田 有咲	大阪大学大学院 医学系研究科 保健学専攻 医療経済・経営学寄附講座	がん患者の症状緩和におけるコーチングを用いたコミュニケーション：文献レビュー
				14:55-15:05	O-27	武田 ヒサ	独立行政法人 国立病院機構 京都医療センター 看護部	EINELC-Jアカリキュラム看護師教育プログラムフォローアップ研修の開催報告 ～NURSEのコミュニケーション研修を取り入れて～
				15:05-15:15	O-28	三輪 花蓮	社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部 大阪府済生会吹田病院 栄養科	当院栄養科職員に対して実施したACPの理解・実践度に関するアンケート報告
15:15-15:25				O-29	楠本 雅美	公益財団法人田附興風会 医学研究所北野病院 緩和ケアチーム	感情表出が難しい若年がん患者への意思決定支援～納得できる意思決定を支える看護の関わり～	
15:25-15:35				O-30	岡山 幸子	宝塚市立病院 看護部	臨死期の看護についての教育方法 ～新人看護師への教育を通して～	
一般演題⑦	小林 正宜 伊藤 まどか	葛西医院 神戸大学医学部附属病院	15:45-15:55	O-31	皆川 美穂	医療法人社団林山朝日診療所 訪問看護・リハビリステーションわたぼうしWEST	難治性のがん性疼痛を緩和する訪問看護実践の検討	
			15:55-16:05	O-32	五島 正裕	ホームケアクリニックこうべ	在宅緩和ケアにおける定期巡回・随時対応型訪問看護サービス利用の意義	
			16:05-16:15	O-33	齋藤 恵美子	兵庫県立尼崎総合医療センター 呼吸器内科	AYA世代の意思決定の困難さを痛感した胚細胞腫瘍患者の一例	
第5会場 バリエット (地下1階)	一般演題③	松田 能登 大石 禮悟	国立病院機構近畿中央呼吸器センター 医療法人社団 まほし会 具屋病院	10:30-10:40	O-11	奥田 有香	和歌山県立医科大学 医学部 麻酔科学講座	緩和ケアへの移行が困難な家族に対しオンラインで病診連携を図り、自宅で最期を迎えることができた一例
				10:40-10:50	O-12	住谷 仁	国立病院機構近畿中央呼吸器センター	呼吸器内科医による間質性肺疾患患者への緩和ケアチーム紹介の実態と課題
				10:50-11:00	O-13	佐藤 紳子	医療法人愛心会東宝塚さとう病院看護部	循環器専門病院における心不全終末期患者に対する苦痛緩和の現状と今後の課題～オピオイド投与とさらに鎮静を要した症例に着目して～
				11:00-11:10	O-14	金子 昌裕	垂水病院 内科	精神科病院での腎臓小脳変性症患者の看取りについて医療者が感じた困難感についての振り返り
				11:10-11:20	O-15	大武 陽一	たけお内科クリニック からだと心の診療所	さまざまな替代療法・保存的腎臓療法を行い症状緩和に努めた末期腎不全の3症例の検討
	一般演題⑤	山崎 圭一 木村 有里	ペルランド総合病院 緩和ケア科 神戸大学医学部附属病院	11:30-11:40	O-21	森 裕紀子	訪問看護ステーション 在宅ホスピス イル・ケア	看取りまでの時間をはるかに超えさせた力は何か ～旅立ちまで「半日足らず」が1か月近くとなった症例～
				11:40-11:50	O-22	寺林 徹	日本バプテスト病院 ホスピス	緩和ケア外来紹介時における医師の予後予測の評価
				11:50-12:00	O-23	河田 尚子	地方独立行政法人 堺市立病院機構 堺市立総合医療センター 緩和ケアセンター	緩和ケア領域における鎮静のカンファレンステンプレート及び指示簿の作成と今後の課題
				12:00-12:10	O-24	田所 学	済生会宇都宮病院 緩和ケア科	緩和ケア病棟において、面会制限は必要だったのか? ～面会制限解除後、2年間の実践報告～
				12:10-12:20	O-25	久理田 和代	兵庫県立はりま姫路総合医療センター 看護部	がん以外の疾患をもつ患者を緩和ケア病棟で看るためには